

神奈川県住生活基本計画（現行計画）

【基本目標】人生100歳時代に向けて、全ての県民がともに支えあい、安全で安心して暮らせる「いのち輝く住まいまちづくり」の実現

住生活をめぐる課題

1 社会環境の変化

コロナ禍を契機として、テレワークの普及等によりライフスタイルが多様化するなど、「新たな日常」に対応した働き方や住まい方が広がりつつあります。

また、風水害等の自然災害が激甚化・頻発化しており、こうした社会環境の変化に的確に対応していく必要があります。



4つの視点

「社会環境の
変化」
からの視点

2 人・くらし

少子高齢社会が到来する中、福祉政策と連携しながら、地域の実情にあった住宅政策を展開する必要があります。

また、住宅セーフティネットの強化とともに、子どもから高齢者までの多世代が、ともに支え合いながら安心して暮らせる住まいまちづくりを進める必要があります。

「人・くらし」
からの視点

3 住まい・まちづくり

本県の住宅ストックは増加傾向にあり量的には充足していますが、空き家の増加や高齢化したマンションの増加など様々な課題を抱えています。

また、脱炭素社会の実現に向けて、住宅においてもエネルギーの消費量を削減することに加え、太陽光発電等を活用してエネルギーを生み出し、それらを効率的に使うことが求められています。

「住まい・
まちづくり」
からの視点



4 コミュニティ・まちの魅力

県内の住宅地では、急速な高齢化と併せて、若者や子育て世帯の流出によって、地域コミュニティの活力低下が問題となっています。

このような課題に対応していくためには、多彩で多様な神奈川の魅力を活かし、地域コミュニティの再生やまちの魅力向上を図りながら、施策を展開する必要があります。

「神奈川
らしい
住生活」
からの視点

9つの目標

目標1 「新たな日常」に対応した
多様な住まい方等の実現

目標2 激甚化・頻発化する自然災害等
に対応した安全・安心な住まい
まちづくり

目標3 若年・子育て世帯などが
安心して暮らせる住生活の実現

目標4 高齢者がいきいきと
暮らせる住生活の実現

目標5 住宅確保要配慮者の居住の
安定確保

目標6 脱炭素社会の実現に向けた良質な
住宅ストックの形成とマンション
の管理適正化等の推進

目標7 空き家の適切な管理と利活用の
促進

目標8 住生活に関連した地域経済
・交流の活性化

目標9 誰もが輝き、地域の魅力あふれる
神奈川らしい住生活の実現

重点施策

・住まい方の多様化・柔軟化の推進

・災害に強い住まいまちづくりの推進
・災害時における被災者の住まいの速やかな
確保

・子育て世帯等への入居支援

・サービス付き高齢者向け住宅の供給及び適正
管理の促進

・高齢者の居住の安定確保に向けた総合的な施
策の推進

・重層的な住宅セーフティネットとして機能す
る住宅の確保と供給の促進

・県居住支援協議会を活用した住宅確保要配
慮者への居住支援

・省エネルギー住宅や長期優良住宅など良質な
住宅ストックの形成

・マンションの適切な維持管理と円滑な再生の
推進

・公的賃貸住宅の長寿命化、再生、活用の推進

・住宅団地の再生に向けた総合的な取組の推進

・空き家の適切な管理

・空き家の利活用の促進

・住宅におけるかながわ県産木材活用の推進

・地域における誰もが活躍する場の創出

・地域コミュニティの再生とまちの魅力向上

・多世代居住のまちづくりの推進

・多様な住まい方に対応した住生活の推進

・健康団地の取組の推進

・住まいにおける未病改善の取組
（健康寿命の延伸）